



「第5回ユースラムサール CEPA ワークショップ (交流会)
in 豊岡」開催のお知らせ



2017年5月22日

1. 趣旨・目的

兵庫県豊岡市は日本で野生のコウノトリが最後まで生息していた場所であるとともに、日本で初めてコウノトリの野生復帰が行われた場所です。コウノトリの野生復帰では、豊岡市、兵庫県、NGO など様々な団体の連携によって、コウノトリが生息できる湿地や水田の整備をはじめ様々な活動が市内各地で行われてきました。これらの取り組みによりコウノトリが生息・繁殖できるようになっただけでなく、地域にとっても「コウノトリを育むお米」としてブランド化して販売されているなど、様々な効果が生まれました。今回は、「コウノトリ」と「保全に関わる人々」をテーマに、コウノトリがもたらした地域の魅力を学びます。また、話を聞くだけでなく、実際に湿地保全のための活動を行い、今後の日頃の活動に活かすための交流会を実施します。

2. 概要

- ・主催：ユースラムサールジャパン
- ・後援・協力（予定）：豊岡市、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議、NPO 法人日本国際湿地保全連合、ラムサールセンター、田結区、植村直己冒険館、日本コウノトリの会
- ・期間：2017年7月15日（土）～ 17日（月）※2泊3日
- ・開催場所：兵庫県豊岡市、コウノトリの郷公園、田結湿地、ハチゴロウの戸島湿地、伊府湿地

3. 参加費（予定）

- ・会員：12,000円
- ・非会員：15,000円

※集合場所までの交通費は自己負担が原則です。会員の方で遠方からの参加者には交通費の補助を検討します。申し込み前に事務局まで助成希望であることを必ずご連絡ください。

4. 募集条件、人数

全国の湿地で活動、研究し、環境教育に興味がある中学生から大学生を募集します。定員は6名です。応募多数の場合は、選考します。

【参加条件】

- (1) 湿地での保全活動や環境教育に興味があり、積極的に学びたいと思っていること。
- (2) 湿地に関する様々な情報を持ち寄り交流し、地元を持ち帰って湿地の価値を見直し、活動に生かせること。
- (3) 参加後、事後レポートを提出できること。
- (4) イベント開催中のけがや事故は原則自己管理、自己責任です。この点を理解、了承できること。
- (5) 18歳以下の方は、保護者の了解を得られること。
- (6) 団体に属して活動している人は、所属団体の了解も得られること。
- (7) 全日イベントに参加できること。

5. プログラム (予定)

- 7/15 (土) 1日目 午後：集合、オリエンテーション
兵庫県立コウノトリの郷公園見学
夜：ユース会議① (講義)
- 7/16 (日) 2日目 日中：フィールド見学 (田結湿地、戸島湿地、伊府湿地)
夜：ユース会議② (振り返り)
- 7/17 (月祝) 3日目 午前：植村直己冒険館の見学
ユース会議③ (まとめ・発表)
正午前：解散

6. 宿泊地

- 1泊目：田結研修集会所 兵庫県豊岡市田結 1751
- 2泊目：未定 兵庫県豊岡市日高町 神鍋エリアにある民宿を予定
みんなで雑魚寝になる予定です。必要なものは改めて連絡します。

7. 応募方法

参加条件の確認と了解の上、「参加申し込み用紙」と「事前レポート」の用紙に記入してください。
記入した用紙は、下記のユースラムサールジャパン事務局までメール、郵送か **FAX** で送ってください。

8. 応募締め切り：2016年6月16日(金) 必着

9. その他

- ・アレルギーや持病等がある場合は、必ず申し込み時にご連絡ください。
- ・中学生、高校生 (18歳以下の人) は、このお知らせを必ず保護者にも見せてください。
また、参加にあたっては、必ず保護者の同意を取ってください。
- ・お知らせ、申し込み用紙のデータを希望する人は、事務局までお知らせください。
- ・記入した申し込み用紙は、自宅にスキャナーがある人はスキャンして事務局までメール添付で送ってください。スキャナーがない場合は、郵送か **FAX** で送ってください。
- ・当日の集合時間や場所、スケジュールの詳細は参加者確定後、改めて連絡します。

<申込用紙送付先・お問い合わせ>

ユースラムサールジャパン事務局

〒453-0855 名古屋市中村区烏森町 8-709 ラポール烏森 A-203 (戸荻方)

E-mail：youth.ramsar.japan2015@gmail.com

TEL/FAX：052-446-8489

※急用の場合は下記にお電話ください。

携帯：090-5858-8350